



週報

2011～2012年度 国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

No.0933 2012.6.11 第42例会

◆本日のプログラム

6月11日
「番組制作の現場から」
山陽放送アナウンサー
小林 章子 氏

◆理事・役員(2011.7～2012.6)

会 長	藤岡 温	会 計	岡本 和夫	理事・親睦活動	小松 忠男
副 会 長	花房 茂	理事・職業奉仕	丹治 康浩	理事・プログラム	相原 利行
幹 事	原 全伸	理事・社会奉仕	大饗 よし江	理事・ロータリー財団	岡村 秀男
副 幹 事	樋口 芳紀	理事・国際奉仕	原田 徹美	直 前 会 長	川西 熊雄
理事・S.A.A.	山田 喜広	理事・新世代奉仕	小松原 隆代	次 期 会 長	西山 隆三郎
副 S.A.A.	河田 肇	理事・会員増強	大賀 章弘		

◆次回のプログラム

6月18日
ひな壇退任挨拶
花房 茂 副会長
樋口 芳紀 副幹事
山田 喜広 S.A.A.
河田 肇 副S.A.A.



Reach Within to Embrace Humanity

岡山北西ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288
E-mail:hokusei@6rc.jp
http://www.okayama-hokusei-rc.jp
友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

地区スローガン

「ロータリーは人をつくる」

クラブスローガン

「親睦の絆で高める奉仕の心」

●例会場
岡山市北区駅元町1-5
ホテルグランヴィア岡山

●例会日
毎週月曜日
12:30～13:30

前回6月4日の例会記録

出席の状況

会員数 52名（内出席免除 5名） 出席者数 41名 欠席者数 11名

出席率 83.67% 前々回訂正 91.84%

欠席者 藤原、福元、日笠、堀川、入江、梶谷、鴨井、川本、（平野）、（市川）、（中西（広））

S . A . A .



原田会員

先日はIDM御利用ありがとうございました。又の御来店を！



西岡会員

先週、仕事にて、中国の大連・瀋陽と行ってきました。約30人との出会い、今後瀋陽の仕事、受注、がんばりたいと思います。



西山会員

先週は例会を欠席させて頂きました。今回は仕事ではなく家内と1週間パリに出掛けて来ました。変わらない街角がとても美しい印象を目にして帰国して来ました。



氏房会員

申し訳ありませんが、本日、早退いたしますのでスマイルします。



岡本(浩)会員

2日の土曜日、瀬戸内市立美術館で開催中のダウン症の女流書家金澤翔子さんの展覧会に行ってきました。作品の数々に圧倒され感動して来ました。トークの内容と作品に勇気をもらった事に感謝スマイルします。

以上、5件 16,000円（累計 1,088,500円）

幹事報告

幹事 原 全 伸

- ・今年5月5日より9日までタイ国バンコックで開催されました国際大会は、3万人を超す登録で日本からも3千人を超すロータリアンが参加して、大変な盛会だったようです。次年度RI会長は、日本人3人目の田中作次エレクトです。国際大会は、日本かと思いきやボルトガルで開催されるそうです。（ちょっと、遠いです）
- ・憩いの丘より、6月9日(土)高田ホテル祭りのご案内が届いております。来場される方には駐車場の確保をして頂けるとのことです。
- ・岡山中央RCより創立25周年記念誌が届いておりますので回覧いたします。
- ・本日例会終了後、理事役員会を開催しますので関係者の方はお集まりください。

例会プログラム

クラブフォーラム「次年度に向けて」

1. 例会について

(1) 例会行事

- 第1週 国歌「君が代」、ロータリーソング「奉仕の理想」、お祝い行事
- 第2週 ロータリーソング「手に手つないで」、岡山北西ロータリークラブソング
- 第3週 ロータリーソング「我等の生業」、「4つのテスト」の唱和
- 第4週 ロータリーソング「それこそロータリー」、岡山北西ロータリークラブソング
- 第5週 ロータリーソング「奉仕の理想」、「4つのテスト」の唱和

(2) 食 事 ミリオンダラーミール4回、ヘルシーランチ14回

(3) クラブフォーラム 7回(8月クラブ奉仕 9月新世代奉仕 10月職業奉仕 11月ロータリー財団 2月社会奉仕 3月国際奉仕 6月次年度に向けて)

(4) 夜間例会 6回(7/23旧ひな壇慰労例会 9/24月見夜間例会 12/24クリスマス家族例会 1/7新年互礼会 2/25創立記念夜間例会 4/8花見夜間例会) ※月見と創立記念は配偶者同伴

(5) ガバナー公式訪問例会 10/1



2. 友好クラブ (1) 第1例会表敬訪問 7/4(水)
 (2) 友好親睦旅行 10/20(土)～21(日)
3. RI地区大会(全員登録) 10/27(土)～28(日)(会場:倉敷アイビースクエア, 倉敷市民会館)
4. 第8・9グループIM(全員登録) 2/3(日)(会場:未定)
5. 新地区補助金プロジェクト
- (1) 内容 教育講演会(演題:「私が歩んだ道」～見えないから見えたもの～)
- (2) 講師 竹内昌彦先生(元岡山県立岡山盲学校教頭)
- (3) 日時 9/2(日) 午後1時30分～3時30分
- (4) 会場 ホテルグランヴィア岡山 4Fフェニックス
- (5) 予算 391,370円(内訳:新地区補助金 190,000円, クラブ負担金 201,370円)
- (注) ____部分は、クラブフォーラムの際の説明から変更・訂正しております。



クラブ情報

「第12回理事・役員会」議事録

1. 日時 平成24年6月4日(月)13:30～ 場所 ホテルグランヴィア岡山 3階「エメラルド」
2. 出席者 藤岡 温(会長) 花房 茂(副会長) 原 全伸(幹事) 樋口芳紀 山田喜広
 河田 肇 大饗よし江 原田徹美 小松原隆代 小松忠男 大賀章弘 岡本和夫
 岡村秀男 相原利行 川西熊雄 西山隆三郎
 欠席者 丹治康浩
3. 会長挨拶
4. 審議事項
 - 1) 6月の予定について ※原案通り承認
 - 2) 市川会員の叙勲祝賀会について ※承認
 ※6月8日(金)18:30～ 辻元会員(4代市川会長時の幹事)にもお声掛け。
 - 3) 新地区補助金の最終報告について ※承認
 5月25日新地区補助金の最終報告書を提出し、受理された。
 - 4) 職業分類表の追加について ※承認
 末吉会員の申し出により「容器販売 Container Sale」を追加することとした。
 - 5) ロータリー看板の再作成について
 ※岡山丸の内RC例会会場移転に伴い、ホテルのロビーにありますサインボード(岡山北RC/岡山北西RC/岡山丸の内RCの3クラブ連名)の作り替えが必要。岡山北RCと相談のうえ対応することとした。
5. 報告(連絡)事項
 - 1) 電気自動車充電ステーションの工事が6月15日頃完了の予定。
 - 2) 6RC臨時幹事会報告
 - 3) スマイルの現状報告

四つのテスト

- 1932年 ハーバート J.テラー(後の国際ロータリー会長)によって創作される。
 1943年 国際ロータリーにより採用される。

Rotary Japan Webより抜粋

四つのテスト その由来をひもとく ダレル・トンプソン(米国カリフォルニア州モローベイRC)
 THE ROTARIAN 1999年10月号
 ロータリーの友2000年1月号:掲載
 ロータリーの友2003年10月号再掲載

今から60年以上も前の大恐慌のさなか、一人のロータリアンが4項目からなる簡明な倫理指針を考案しました。この指針は、窮地にあった彼の会社を救うのに役立ったのです。この指針が表現していた内容や信条はまた、ほかの多くの人たちに対しても、倫理的羅針盤を提供することになりました。やがて、国際ロータリーによって採用され、広く知れ渡

ることになったこの四つのテストは、今日では、ロータリーの基本理念の一つとなっています。今世紀におけるロータリーの最も素晴らしい声明の一つと言ってもよいでしょう。

創案は七つのテスト

この四つのテストの創案者であるハーバート J. テーラー（ハーブ）は、1919年に、米国オクラホマ州シンクレア石油会社に勤務しました。彼は1年後に同社を退社し、保険・不動産・石油リース仲介業を始めました。

数年に及ぶこの事業でいささかの成功を収めたハーブは、1925年にイリノイ州に戻り、シカゴのジュエル・ティー社に入社、とんとん拍子に昇進しました。そしてやがてシカゴロータリークラブの会員となりました。1932年、ジュエル・ティー社の次期社長候補であったハーブは、破産寸前状態にあったシカゴのクラブ・アルミニウム社の再建を依頼されました。調理器具メーカーの同社は、総資産額を40万ドル上回る負債を抱え、倒産の瀬戸際にありましたが、ハーブはこの難事業を引き受け、危機にひん瀬した同社に自らの運命を託したのです。彼は、ジュエル社を辞め、これまでの給与の8割減という収入でクラブ・アルミニウム社の社長に就任しました。しかもそのうえ、運営資金に充てるため、自己資金6,100ドルを同社に投資したのです。

信仰心の厚いハーブは、同社を建て直し、大恐慌下の沈滞ムードを払拭（ふっしょく）するための手段として、社員たちに倫理的価値観の目安となる簡潔な指針を提供すべく、神の啓示を求めて祈りをささげました。

社の倫理訓について構想をめぐらせたハーブは最初、およそ100語からなる文章をしたためましたが、これは長すぎると判断しました。そこでさらに推敲（すいこう）を重ね、それを7つの項目にまとめたのです。四つのテストは当初は、七つのテストだったのです。しかし、これでも長いと考えた彼は、それを自問形式の4項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストとなりました。

広告に適用した四つのテスト

次にハーブは、できあがった項目を社の4部門の部長にはかりました。その4人はローマカトリック信者、クリスチャンサイエンティスト、正統派ユダヤ教徒、長老派教会員という人たちでした。四つのテストが自分たちの宗教上の教義に反しないばかりでなく、私生活ならびに職業人としての生活の模範的指針になるものであることで、意見の一致を見ました。

このようにして、「言行はこれに照らしてから」の四つのテストが誕生したのです。

- | | |
|-------------------|--|
| 1) 真実か どうか | Of the things we think,say or do |
| 2) みんなに公平か | 1) Is it the TRUTH? |
| 3) 好意と友情を深めるか | 2) Is it fair to all concerned? |
| 4) みんなのためになるか どうか | 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIEND? |
| | 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned? |

真実かどうか—真実は不変であり、時代を超越するものです。真実は正義なくしては存在し得ません。

みんなに公平か—顔を突き合わせてとは言わないまでも、腕を伸ばせば届くような所で、激しくやり合うビジネス手法に代わり公平さを取り入れたビジネスは、お互いの関係を傷つけるよりも、その関係向上に役立ちます。

好意と友情を深めるか—人は生まれながらにして、他者と協力して生きていく存在であり愛情を示すことは生来備わっている本能です。

みんなのためになるかどうか—この項目は、食うか食われるかを原則とする無慈悲な競争を排除するものであり、それに代わって建設的で創造的な競争を導入するものです。

四つのテストは国家という枠を超えたものであり、国境や言葉の障壁を超越するものです。そこには、政治や独断や特定の信条は介在しません。一つの倫理規範としての存在以上である四つのテストは、いかなる形であれ、人生を成功に導くための要素を含み持っています。それは今日の社会でも有効性を保持し、かつ実効性のあるもののなのです。

例会情報

本日のメニュー（6月11日（ヘルシーメニュー））

鯛のロティと揚げ茄子 山葵をきかせた甲殻類のジュ お米のスフレと茗荷を添えて
季節のサラダ コーヒー ホテル特製パンとバター

次回のメニュー（6月18日）

クレソン風味のビシソワーズ すずきのポワレ 生海苔とウニのヴェルモット・ソース 季節野菜添え
ミックスグリーンサラダ シェフ特製デザート コーヒー ホテル特製パンとバター